



PHYTOCHROME

コーンスターチ由来の保水材

農業用
土壌改良資材

Z-E-B-A[®]
ゼバ



保水力アップ

水分の浸出を減らし、
土壌の保水力を改善します。



農業用水の節減

灌水に使用する水量を
節減できるため、経済的です。



ふかふかの土に

土壌中の微生物が活性化し
根圏環境を健全化します。



肥料の利用効率アップ

土壌の保肥力を改善し、植物栄養や
ミネラルの植物への移動を助けます。



自然分解性

土の中で自然に分解され
環境への負荷を軽減します。

発芽率の向上

初期成育の充実

しおれ抑制

収穫物の品質改善

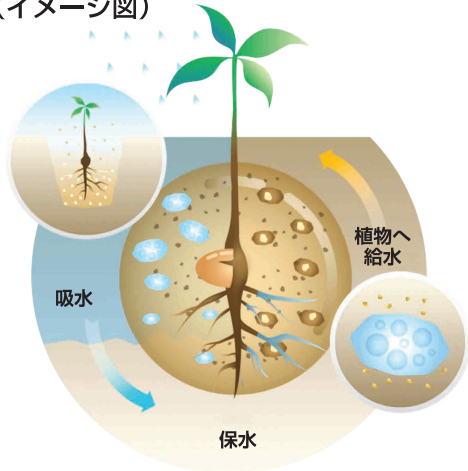
ZEBBAで高温・乾燥対策



株式会社 ファイトクローム

®は登録商標です

ZEBAの土壌中のはたらき
(イメージ図)



吸水前の淡褐色顆粒

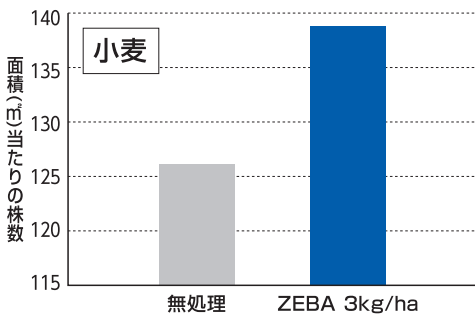


吸水して膨張した顆粒

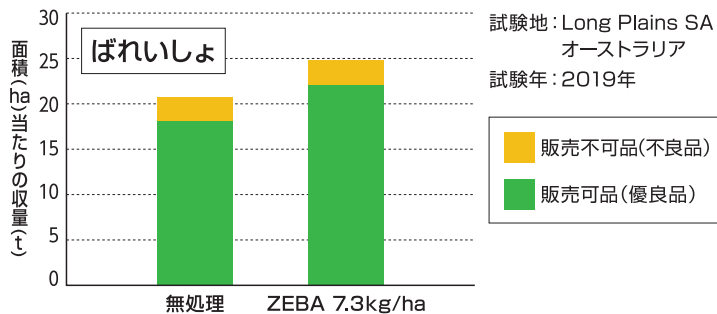
ZEBA (ゼバ)の特長

- ZEBA (ゼバ) は天然物由来の吸水性ポリマーです。
- 粒子は吸水、保水、給水を繰り返すことで栽培期間を通じて植物に必要な量の水分を供給します。
- 粘着性の高い粒子がエアポケット (空気間隙) を作り、土壌に団粒構造が形成されます。
- 天然物由来原料なので分解性に優れ、自然環境への負荷を軽減できます。
- 成分にナトリウムを含まないため、塩害の要因になりません。

海外の施用事例



試験地: Junee NSW
オーストラリア
試験年: 2020年



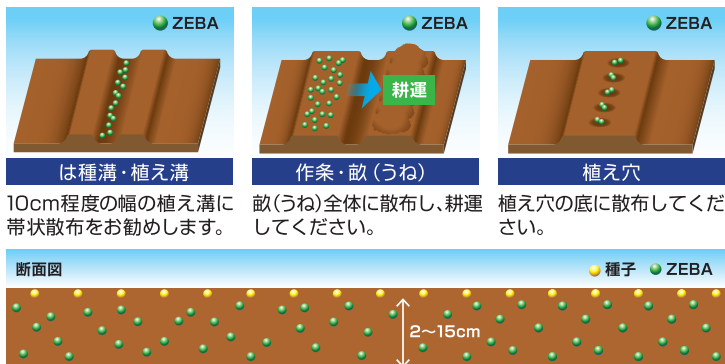
試験地: Long Plains SA
オーストラリア
試験年: 2019年

施用方法

- 播種前や定植前、土壌や培土に十分に混和。施用後はなるべく早く灌水してください。
- 従来の肥料や土壌改良資材と混ぜて施用することができます。● どの作物にもお使いいただけます。

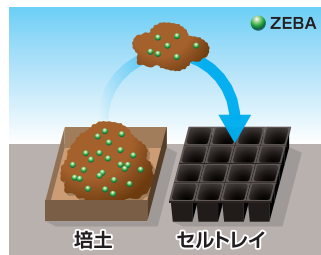
上手な使い方の例

土壌混和 (深さ約2~15cm)



- 種子の下2~15cm程度の深さに施用するのが理想的です。
- 灌水位置、肥料の投入位置に近い場所に混和してください。
- 土壌混和後はなるべく早く灌水してください。
- 肥料と混合して散布することも可能です。

培土混和



- 様々な種類の培土に混和できます。
- 培土に均一に混ぜた後、セルトレイなどに投入してください。
- 培土への投入は、0.5g/L-1g/Lの範囲で行ってください。
- 種子の周囲や上に散布する場合は、発芽を最適化するために、作条処理後、なるべく早く灌水してください。

使用作物例と施用量

小麦	200-500g/10a
豆類	450-800g/10a
サトウキビ	1.0-1.25kg /10a
トウモロコシ	0.45-1.0kg /10a
イモ類	0.8-1.2kg /10a
葉菜類	0.8-1.0kg /10a
果菜類	0.6-1.0kg /10a
育苗用培土	25-45g/50L
土壌クラスト※対策	500g/10a

※土壌クラストとは…
土壌表面に形成される薄く固い土膜。クラストが形成されることにより土壌への水の浸透が制限され、また発芽率の低下にもつながります。

使用上の注意

- ラベルをよく読んでください。● 記載以外に使用しないでください。● 開封後はなるべく早く使いきってください。
- 土壌表面散布は効果が得られないので推奨できません。● 2g/Lまたは2kg/m²を超えない範囲で使用することを推奨します。
- 水路や排水設備に直接入らないように注意してください。

安全使用上の注意

- 粉塵を吸い込まないように注意して取り扱ってください。● 取り扱い時は、飲食や喫煙をしないでください。
- 袋の中の空気を直接吸い込まないようにしてください。アンモニアに似た臭いがかすかにありますが、有害ではありません。

ZEBA紹介動画→

